

# 平成29年度事業報告

自 平成29年4月 1日  
至 平成30年3月31日

# 目 次

I 事業の状況	1
1 概況	1
II 事業概要	2
1 スポーツ・レクリエーションの普及指導及び体力の増進に関する事業【公益目的事業】	2
(1) スポーツの普及指導事業	2
(2) レクリエーションの普及指導事業	6
(3) 体力の増進事業	14
(4) その他の事業	14
2 都市公園並びにスポーツ・レクリエーション及び歴史・文化・自然に関わる施設の管理運営事業【公益目的事業】	15
(1) 指定管理施設	15
(2) 施設管理運営事業	15
(3) 緑地管理事業	16
(4) 有料施設管理事業	16
(5) 指定管理施設の利用者数	17
3 都市公園等に関する情報の収集、広報、調査研究及び利用促進並びに地域づくりに関する事業【公益目的事業】	18
(1) 都市公園等の情報収集事業	18
(2) 都市公園等の広報事業	18
(3) 都市公園等の調査研究事業	19
(4) 都市公園等の利用促進事業	19
(5) 都市公園等の地域づくり事業	21
4 緑化に関する普及指導、情報の収集及び調査研究に関する事業【公益目的事業】	22
(1) 緑化推進の普及指導及び情報収集事業	22
(2) 緑化推進の調査研究事業	26
5 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業【収益事業】	27
(1) 都市公園の管理運営のうち、興行に類するものへの貸出に関する事業	27
(2) 緑化の推進に関する樹木等調査、緑地造成及び緑地管理の受託事業	27
(3) 利用者への利便性供与を目的とする物品販売等に関する事業	28
III 役員等に関する事項	29
1 理事、監事の状況	29
2 評議員の状況	29
3 常勤役員の異動状況	30
4 常勤役員の兼職状況	30
5 理事会及び評議員会の開催状況	30
IV 特記事項	32

# 平成29年度事業報告

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

## I 事業の状況

### 1 概 況

平成29年度は、あづま総合運動公園（以下「あづま」という。）、福島空港公園（以下「空港」及び逢瀬公園（以下「逢瀬」という。）・福島県総合緑化センター（以下、「センター」という。）については第3期の指定管理者として、福島市民家園（以下「民家園」という。）については第2期の指定管理者として、それぞれ4年目の管理運営に当たり、引き続き、来園者に快適かつ安全な施設を提供するため、定期的な巡回や点検など施設の適切な維持管理や緑化の推進に取り組み、管理する公の施設の健全な発展と公共の福祉の増進に寄与するよう努めた。また、事業の実施に際しては「効率的業務執行」と「サービスの向上」を基本とし、利用者のニーズに応じた事業を展開した。

スポーツの普及指導については、子どもを対象とした水泳や球技、体操などの各種スポーツ教室、一般を対象とした公園健康づくり教室を開催したほか、テニス大会やウォーキング大会等を主催するとともに、他団体の協力により「パラスポーツ&ゆるスポーツ体験会」を初めて実施した。

レクリエーションの普及指導については、あづまで、「春の感謝デー」や公園の宿泊体験の実施、関係団体と連携した「ふくしま手づくりマルシェ」と「あづまT e s h i — g o t 市場」の開催に加え、子ども達に公園内で思いっきり身体を動かして遊んでもらう「あづまちびっこパーク」の実施、サイクルスポーツ広場では、夏季にミスト装置を設置するとともに、10月のサービスデーに合わせ「子どもサイクルフェスタ」を共催により開催した。また、空港ではhandmademarket「ソライチ」、逢瀬・センターでは「キャベツ餅MUSIC LIVE」などを関係団体と連携して開催した。

緑化の推進普及については、あづまで、公園の季節ごとの魅力や見どころを伝える「公園の自然探訪」や人材の育成を目指した「公園の達人宿泊体験」の実施、公園施設の利活用を図るための「あづま香りのバラ園まつり」、「サクラ、イチョウ等の四季のライトアップ」など、緑化に関する体験会やイベント等を開催した。また、空港では「空港公園自然塾」、逢瀬・センターでは「スローライフを楽しむハーブ講座」、民家園では「縁側の山野草展」などを開催した。

大規模なイベントとしては、あづま総合体育館ではインターハイの「バスケットボール競技大会」（7月28日～8月2日）及び「ハンドボール競技大会」（8月5日～10日）、とうほう・みんなのスタジアムでは「ジャパンパラ陸上競技大会」（9月23、24日）などの全国大会が開催された。

## II 事業概要

### 1 スポーツ・レクリエーションの普及指導及び体力の増進に関する事業【公益目的事業】

#### (1) スポーツの普及指導事業

##### 1) スポーツ教室

子どもを対象とした「小学生初心者水泳教室」や大人を対象とした「ワンポイント水泳教室」、「親子で楽しむ運動教室」、「健康ウォーキング教室」等のスポーツ教室を開催し、県民の運動意欲の高揚に資するとともに、公園施設利用者の増加に努めた。

場 所	事業名	対 象	実施日	回 数	延べ参加者数
あづま	あづまガールズ サッカースクール	小学生～ 中学生の 女子	隔週水曜日 4～3月	24回	187名
	子どもハンドボール体験会	小学生	4～3月	14回	171名
	公園健康づくり教室	一般	4～3月	24講座	283名
	ワンポイント水泳教室	一般	4～6月 10月～3月	36回	186名
	健康ウォーキング教室	一般	4～6月 9～11月	6日×2期	80名
	親子で楽しむ運動教室	幼児・親	5～7月 10～12月	12回	232名
	小学生初心者水泳教室	小学生	5～11月	6日×4期	541名
	小学生陸上競技教室	小学生	4/7～4/28	6日×1期	300名
	はじめての一輪車教室	小学生	6/11、9/24	1日2部 ×2期	61名
	子どもわんぱく体操教室	小学生	1/15～27	6日×1期	96名
小学生水泳教室	小学生	2/17～3/4	6日×1期	167名	
空 港	ノルディックウォーキ ング体験会	一般	4月～3月	24回	460名
	みどりの中のヨガ教室	一般	4/8、6/24、 8/5、10/7	4回	56名
	公園で楽しく太極拳 教室	一般	5/21、7/16、 9/3	3回	23名
逢 瀬、 センター	ノルディックウォーキ ング体験教室	一般	4月～3月	47回	557名

## 2) スポーツ大会

マスターズテニス大会やパークゴルフ大会を主催するとともにウォーキング大会、サッカーフェスティバルなどを各種スポーツ団体と共催により開催し、県民のスポーツ参加に寄与した。

場 所	事業名	対 象	実施日	延べ参加選手数
あづま	第 33 回福島市スポーツ少年団バレーボール競技大会	小学生	4/22、23	240 名
	第 6 回あづま総合運動公園チーム対抗テニス大会（人工芝完成記念大会）	一般	5/3	143 名
	第 33 回全国小学生陸上競技交流大会 県北地区予選会	小学生	6/3	662 名
	第 8 回あづま総合運動公園マスターズテニス大会	一般	6/22	126 名
	第 10 回あづまカップパークゴルフ大会	一般	7/1	152 名
	第 33 回全国小学生陸上競技交流大会 福島県選考会	小学生	7/9	1,488 名
	陸上競技投てき・跳躍講習会	中学生～ 一般	8/7	181 名
	第 20 回 Me&You サッカーフェスティバル	小学生	8/19、20	670 名
	第 36 回福島県サッカースポーツ少年団選抜大会	小学生	8/26、27	728 名
	第 22 回ミニバスケットボールチビっ子フェスティバル	小学生 低学年	9/2、3	1,274 名
	第 13 回西方部親善木球大会 兼あづま杯木球大会	一般	9/2	44 名
	2017 ふくしま健康マラソン大会	幼稚園児～ 一般	10/15	1,737 名
	第 40 回総合運動公園庭球場オープン記念ダブルステニス大会	小学生、中学 生、一般	10/22、29	荒天のため 中止
	第 25 回あづまカップ福島市ゲートボール交流大会	一般	10/26	60 名
	第 15 回あづまの郷ウォーク大会	一般	11/3	1,833 名
うつくしまふくしま第 40 回福島県小学生バレーボール選手権大会	小学生	12/2、3	1,980 名	

場 所	事業名	対 象	実施日	延べ参加 選手数
あづま	第 20 回あづま荒川 クロスカントリー大会	中学生～ 一般	12/10	1,553 名
	第 17 回あづまジュニア体操競技大会	小・中学生	1/13、14	54 名
	あづまU-12 ガールズフットサル 2018	小学生 女子	2/17、18	174 名
空 港	須賀川市大東地区球技大会	一般	6/5	100 名
	第 8 回福島空港公園杯 8 人制ジュニア サッカーフェスティバル	小学生	6/10、11	600 名
	第 26 回福島県ターゲット・バードゴルフ 親善交流大会	一般	7/20	100 名
	ルームズカップ 2017 第 10 回中学生 サッカーフェスティバル	中学生	8/12、19、20	490 名
	第 7 回翡翠チャレンジカップ 第 1 回 J A 夢みなみ組合長杯	小学生	9/2、3	1,000 名
	第 16 回福島空港公園庭球場オープン 記念ダブルステニス大会	一般	9/24	中止
	第 14 回福島空港公園杯 県南マスターズテニス大会	一般	9/28	雨天のため 中止。
	第 6 回福島空港公園 秋季選抜 ジュニアシングルステニス大会	中学生	10/7、8	128 名
	第 11 回福島空港公園杯 少年フットサル大会	小学生	10/14、15	600 名
	第 11 回福島空港公園杯 グラウンド・ゴルフ大会	一般	11/2	450 名
	須賀川市市民体育祭 サッカー競技小学生大会	小学生	11/3	400 名
	第 10 回空のみちウォーク 2017 (記念 大会)	一般	11/12	1,200 名
逢 瀬、 センター	第 8 回ノルディック ウォーキング大会 in 郡山 2017	一般	6/4	110 名

### 3) ニュースポーツ普及指導事業

#### ① 体験会の実施

グラウンドゴルフ、ディスクゴルフなどの体験会を春の感謝デー等で開催した。  
(あづま 参加者数 延べ 242 名)

#### ② 器具貸出し

園内でのニュースポーツ活動、地域住民への器具貸出しを実施した。  
(あづま 貸出件数 延べ 53 件)

#### 4) 他団体連携によるスポーツ普及指導事業

スポーツ関係のNPO法人、各種競技団体などと協働でシニアスポーツ相談及びウォーキング大会を開催し、県民の健康増進に努めた。

場 所	事業名	内 容
あづま	シニアスポーツ相談室の運営	シニア世代の健康増進の一助として、スポーツ・レクリエーション活動に関する情報を継続提供した。相談件数188件。
	第15回あづまの郷ウォーク大会	福島県ウォーキング協会や福島西地区行政区等と協働で開催した。11/3、参加者数1,833名。
	パラスポーツ&ゆるスポーツ体験会	福島県シッティングバレーボール協会等との協働で、年齢や性別、運動能力にかかわらず、誰でも楽しめるスポーツの体験会を開催した。9/9、参加者数32名。
空 港	第10回空のみちウォーク2017（記念大会）	NPO法人や地域の団体と協働で空港公園や空港周辺を歩くウォーク大会を開催した。11/12、参加者数1,200名。

#### 5) 職員が有する能力及び資格を活用したスポーツ普及指導事業

公園資源や職員の持つ資格や技術を活用し、県民の健康づくりに寄与する事業を実施した。

- ① 水泳指導（小学生初心者水泳教室、ワンポイント水泳教室、水連合宿）
- ② サッカー指導（ガールズサッカースクール、主催フットサル大会の審判等）
- ③ アーチェリー指導（合宿、練習会）
- ④ トレーニング指導（高校生ウェイトトレーニング教室（他団体へ派遣）等）
- ⑤ 陸上競技指導

#### 6) 月会員制事業

- ① 体育館トレーニング室  
大人2,470円、高校生1,240円（期間内1日1回2時間まで使用が可能）の月利用料金を設定した。（本年度登録者数は、延べ585名）  
また、シルバー月会員（65歳以上）1,850円（期間内1日1回2時間まで、13時～16時入室限定）を設定した。（延べ25名）
- ② 体育館室内プール  
大人3,700円、4歳児～高校生1,850円（期間内1日1回使用が可能）の月利用料金を設定した。（延べ114名）  
また、シルバー月会員（65歳以上）2,470円（期間内1日1回使用が可能）を設定した。（延べ301名）
- ③ トレーニング室・プール共通  
大人4,940円、シルバー（65歳以上）3,490円、生徒2,470円（期間内プール1日1回、トレーニング室1日1回2時間まで、使用可能）の会員制度を設定した。（延べ14名）

## (2) レクリエーションの普及指導事業

### 1) レクリエーション事業

公園のみどりの豊かさや楽しさを知っていただくため、「あづまちびっこパーク」をはじめ各公園において体験型イベントを実施した。また、県民の知識や技術上を図る生涯学習の場として、「公園カルチャー教室」等を開催した。

場 所	事 業 名	内 容
あづま、空港、逢瀬、センター、民家園	公園フォトコンテスト	公園で見つけた、とっておきの風景や感動、驚きの様子を捉えた瞬間など、見た人が改めて公園の魅力に気づかされるような写真を募る第11回公園フォトコンテストを開催し、344点の作品が寄せられ、最優秀賞を含め、32点を選出した。また、第10回の入賞作品を展示(あづま、センター、空港、コラッセ福島、福島県庁)した。
あづま	みどりの県民カレッジ	公園のボランティア活動の人材育成を目的に、公園の特色を活かした講座を6回開催した。参加者数107名。
	みどりのサポーターの活動	公園内での貢献活動と技術習得の場を企業、団体等に提供した。また、JA新ふくしまが園内清掃を行った。全9回開催。参加者数74名。
	造園技術を学ぼう【新規】	家庭で造園技術が活かせるよう、公園内で樹木の剪定講習会や四つ目垣の作成講習を行った。全4回開催。参加者数36名。
	みどりのボランティアの活動	公園ボランティアの人材育成を目的に、緑地管理の知識や技術の伝達講座、スキルアップとしての活動を開催した。10回、参加者数111名。
	緑と花のあふれるまちづくり	福島商工会議所女性会とともに草花の栽培などを行い、地域の美化に取り組んだ。4回、参加者数24名。
	あづまバラ愛好会の活動	バラ栽培を学ぶ場として、公園の香りのバラ園を活用し技術指導などを行った。班活動を含め42回、参加者数1,064名。
	公園カルチャー教室、公園健康づくり教室	募集した講師(講座)による教室を開催した。年6期47講座、参加者数538名。
	あづま森の楽校	公園の豊かな自然の中での体験型の教室を開催した。前期・後期11回、参加者数47名。
	公園の自然探訪	福島県もりの案内人の会のガイドで、公園を代表するサクラ、ヤマユリ、バラ、イチヨウの鑑賞会を開催した。4回、参加者数25名。



場 所	事 業 名	内 容
あづま	春の感謝デー	公園の新緑の中で県民が参加し楽しめる、フリーマーケット、ステージショー、各種体験会などを開催した。4/30、参加者数 10,229 名。
	福島っこ応援 みどりと花の教室 2017	子供たちが楽しく植物と触れる機会を提供する教室を開催した。3回、参加者数 42 名。
	あづまちびっこパーク	子供たちの健康増進と自然とのふれあいを目的に、身体全体を使い楽しく思いっきり遊んでもらうイベントをせせらぎ・桜の広場で実施した。6/4、参加者数 372 名。
	冬のキッズフェスタ	子どもたちが参加するイベントを開催し、公園への親しみを醸成した。12/24、参加者数 2,024 名。
	「公園の達人」宿泊体験	公園の自然の中で、宿泊体験を通し公園の可能性や自然の大切さを学ぶことを目的に開催した。2/10、11。参加者数 16 名。
空 港	手作り体験教室	とんぼ玉、手作りピザ、つる編み、ミニ門松づくりの各教室を開催した。6回、参加者数 165 名。
	空港公園で農体験	みんなの野菜畑（植え付け、勉強会、収穫祭、芋掘り）を開催した。2回、参加者数 117 名。
	空港公園自然塾	昆虫トラップづくり、木の枝クラフト、ドングリで草木染、ツリーハウスづくりなどを実施した。12回、参加者数 270 名。
	カブトムシ観察舎の設置	子どもたちの利用促進を図るため、エアフロントエリア、緑のスポーツエリアにカブトムシ観察舎を設置した。7/9～8/27、観察者数 797 名。
	「みどりの講座」	バラやハーブの育て方や楽しみ方、季節の寄せ植えをテーマに各教室を開催した。8回、参加者数 190 名。
	季節を彩る「フラワーアレンジ」	季節に咲く花々を用いたフラワーアレンジメント教室を開催した。5回、参加者数 74 名。

場 所	事 業 名	内 容
逢 瀬、 センター	坂道ウォーキングによる健康増進機 会の発信	園内の起伏に富んだウォーキングコースと案内看板 の維持・修繕を行った。また「坂道健康ウォー キングコースマップ」をスタート地点や売店、休憩 所に配置した。
	みどりを感じる手づくり講座	地元の陶芸家や染織家を講師に陶芸と草木 染めの体験を始め、職員が講師となり門松づ くり教室を開催した。9/9、10/13、参加者 37名。
	園芸福祉活動コーナー	高齢者施設の利用者等に車椅子でも気軽に 園芸体験ができる場を提供した。
	国蝶オオムラサキ・甲虫観察舎 の開設	国蝶オオムラサキとカブトムシなどの昆虫 の観察舎を設置して、子どもたちの利用促進 に努めた。6月～8月、入場者数2,421名。
	公園は僕らの宝島“逢瀬の森で 遊ぼう”【新規】	もりの案内人の会県中支部と連携し、木の枝 クラフト体験等を行った。また、福島県野鳥 の会と連携し、スノーシュー体験と野鳥観察 を開催した。2/10、参加者数99名。

## 2) 他団体連携によるレクリエーション普及指導事業

各公園において、地域の団体や学校などと協働で「ふくしま手づくりマルシェ」、「ふくしまキッズ博」、「みどりのサポーター活動」などを開催し、地域の公園として、地域の活性化等の役割を担いながら、公園利用者の増に努めた。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	みどりのサポーターの活動	福島明成高等学校に芝生のメンテナンスや樹木の剪定実習の場を提供した。また、JA新ふくしまが園内清掃を行った。9回、参加者数74名。
	緑と花のあふれるまちづくり	福島商工会議所女性会とともに、草花の栽培などを行い、地域の美化に取り組んだ。4回、参加者数24名。
	あづま森の楽校	福島県もりの案内人の会と共催し、公園の豊かな自然の中での活動を通し、森の恵みや元気と希望を与えることを目的とした体験型の教室を開催した。前期・後期11回、参加者数47名。
	公園の自然探訪	福島県もりの案内人との協働事業により、サクラ・ヤマユリ・バラ・イチョウなどの季節の樹木や花の鑑賞会を行った。4月、6月、7月、10月（全4回）、参加者25名。
	ふくしま手づくりマルシェ	手づくり品の展示販売を通して、県内外の観光客を誘致し、活性化と安全性をPRした。5/20、21、参加者数38,000名。
	ふくしまキッズ博	子どもを対象に玩具遊びなどを通して福島の魅力を再認識してもらうイベントを開催した。7/22、23、参加者数25,000名。
	第13回西方部親善木球大会 兼あづま杯木球大会	福島市西地区体育振興協議会と共催で初心者でも参加できる木球のオープン大会を開催した。9/2、参加者数44名。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	あづま銀杏フェス【新規】	黄葉のイチョウ並木道において、あづま Teshi-got 市場やぎんなん拾い、コンサートなどのイベントを開催した。
	第 8 回あづま Teshi-got 市場	手づくり品のフリーマーケットを開催した。10/28、29。来園者数 30,845 名。
	第 15 回あづまの郷ウォーク大会	福島県ウォーキング協会や福島西地区行政区等と協働で開催した。11/3、参加者数 1,833 名。
空 港	YOSAKOI in 空港公園	地域のよさこい団体から参加者を募集し、活動と披露の場を提供した。5/3、来園者数 9,027 名。
	第 6 回福島空港公園 handmademarket「ソライチ」	地域の手作り愛好者団体と協働で、手づくり品を販売するイベントを開催した。6/3、4、来園者数 45,000 名。
	十五夜音楽会	地域で活動している音楽グループと協働で、十五夜音楽会を開催した。9/16、参加者数 300 名。
	空のみちウォーク	NPO 法人や地域の団体と協働で空港公園や空港周辺を歩くウォーク大会を開催した。11/12、参加者数 1,200 名。
	「空港公園」そば道場	NPO 法人と協働で、空港公園「そば畑」で栽培したそば粉を活用した、そば道場を開催した。12/10、参加者数 100 名。
	空港公園クリスマスコンサート	クリスマスの時期に合わせ、コンサートを実施した。12/24、参加者数 100 名。
	空港公園の森トレッキング【新規】	NPO 法人や地域の団体と共催で空港公園の広大な自然の中を歩く「空港公園の森のトレッキング」を開催した。3 回、参加者数 165 名
	空港公園でバードウォッチング【新規】	日本野鳥の会郡山支部と共催でバードウォッチングを開催した。7/30、2/4、参加者数 37 名。

場 所	事 業 名	内 容
空 港	空港公園で健康になろう	空港公園の3エリアを活用し、ノルディックウォーキングや太極拳、ヨガの体験会を開催した。参加者数 539 人。
	空港公園で農体験	みんなの野菜畑（植え付け、勉強会、収穫祭、芋掘り）を開催した。2 回、参加者数 117 人。
逢 瀬、 センター	春の山野草展、秋の盆景展	センターを拠点として活動するみどりの愛好会（2 団体）と協働で、山野草の展示会を開催した。5/20、21、10/20～22 入場者数 755 名。
	キャベツ餅MUSIC LIVE 2017	地元「安積アルプス出逢いプロジェクト」の事業として、逢瀬公園わんぱく広場を会場に、4 回目となるキャベツ餅MUSIC LIVE を開催した。当日は時折雨が激しく降るなど来園者が少なかった。9/17、参加者数 1,701 名。
	公園は僕らの宝島“逢瀬の森で遊ぼう”【新規】	もりの案内人の会県中支部と連携し、木の枝クラフト体験等を行った。また、福島県野鳥の会と連携し、スノーシュー体験と野鳥観察を開催した。2/10、参加者数 99 名。
	朝採り野菜市	地域の生産者と協働で地域の活性化と公園利用の促進に努めた。6 月～11 月、利用者数 440 名。
	逢瀬公園秋の感謝祭	わんぱく広場を会場に、地域の各種団体の協力を得ながら開催したが、生憎の雨天となり、気温も上がりず訪れる人が少なかった。10/7、参加者数 708 名。
民家園	縁側の山野草展・即売会	古民家の風情と稀少な山野草の展示会を開催し、併せて苔玉作り体験会や即売会を開催した。6/3、4、参加者数 509 名。
	民家園ふれあい祭り	古民家を利用した工作体験、地域産の新そばの販売、餅つき、スタンプラリーなど市民団体と協働で開催した。11/5、参加者数 1,133 名。

### 3) 地域連携によるレクリエーション普及指導事業

地域の自治会や商工会等の団体と協働で「緑と花のあふれるまちづくり」等様々なイベントを開催し、地域の活性化に取り組んだ。また、「西いきいきふれあい合宿の受け入れ」等により、地域と連携しながら子どもたちの育成に努めた。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	「地域に学ぶ中学生体験学習」の生徒受け入れ（市内各中学校）	地域の中学校が行う職場体験学習を受け入れ、施設の見学や職員の行っている業務体験を行った。参加者数 2 校、8 名。
	みどりのサポーターの活動	福島明成高等学校に芝生のメンテナンスや樹木の剪定実習の場を提供した。また、JA新ふくしまが園内清掃を行った。9 回、参加者数 74 名。
	緑と花のあふれるまちづくり	福島商工会議所女性会とともに、草花の栽培などを行い、地域の美化に取り組んだ。4 回、参加者数 24 名。
	あづまバラ愛好会の活動	ローズコンシェルジュとともに、公園のバラ園を学びの場として活用し、技術指導などを行った。班活動を含め開催。42 回、参加者数 1,064 名。
	うつくしま園芸福祉の会との協働連携	クリスマスローズ花壇の手入れを行った。 4/14、6/9、10/6、3/19 また、「春の感謝デー」では、ミニ寄せ植え体験会などを開催した。4/30、参加者数 34 名
	西いきいきふれあい合宿の受け入れ	地元の小学生の宿泊体験を体育館 3 階の宿泊施設を利用して開催し、子どもたちの育成に寄与した。6/26～30、参加者数 17 名。
	子ども応援プロジェクト（絵本ぶんこ読み聞かせ）	地域の読み聞かせ団体と協働で、来館した幼児とその保護者を対象に読み聞かせを開催した。3/10、11。参加者数 60 名

場 所	事 業 名	内 容
空 港	空港公園ふれあいデー	地域で活動する各種団体と連携し、空港公園が地域活動拠点とすることを目的に、フリーマーケット、ミニコンサート、ハワイアンダンス、おもしろサイクル、フライングディスク、どんぐり飾りやプラ板づくり、地域物産販売、飲食テント村等を行った。5月～9月、3回、来園者数12,177名。
	花づくりサポート事業	地域の緑化の普及・啓発を図るため、協会で栽培した草花を地域の美化運動へ提供した。6月中旬、マリーゴールド、サルビア苗400ポット、また、5月3日、9月16日の福島空港祭に併せ、それぞれ1,000ポット合計2,000ポットを市民に無料で配布した。
	花のまちづくり推進事業	市民が参加して栽培した花苗で地域環境の美化活動や地域おこしを行うことを目的に、4月から10月まで6回延べ60人が参加し、2,000ポットの花苗を地域に寄贈した。
	空港公園で夢体験	施設の利用促進や地域交流の機会の創出を目的に「YOSAKOI in 空港公園」、「十五夜音楽会」、空港公園「そば道場」、「空港公園クリスマスコンサート」を開催した。来園者数9,527人。
逢 瀬、センター	逢瀬公園さくらまつりの開催	地域の商工会と実行委員会を組織し開催したが、午後からの雨と風により途中中止となった。4/15、来園者数3,062名。
民家園	民家園つるし雛&荒井寒ざらしそば祭り	周辺地域の協力のもと、つるし雛の展示と地元産そば、農産物の販売を行った。4/8～4/16(そば祭りは4/8、9のみ)、参加者数3,057名。
	古民家のお茶会	民家園つるし雛&荒井寒ざらしそば祭りに併せて、古民家でお茶会を開催した。4/8、9、参加者数80名。

#### 4) サイクルスポーツ広場事業

変わり種自転車や一輪車、バッテリーカーやそり(無料)の貸出を行った。年4回、無料開放日を設け、家族のふれあいと子どもたちの健康増進の場の提供に努めた。また、人気の高い小さい子ども向けの自転車10台を新たに配置した。

利用者数は、延べ464,949名、有料自転車等利用者数は217,730名であった。(あづま)

### (3) 体力の増進事業

場 所	事 業 名	内 容
あづま	軽運動室の無料開放	震災後、屋外での運動機会が減っている子どもたちの健全育成や体力増進に資するため、小学生以下を対象に、有料施設である軽運動室を無料開放した。利用者数55,942名。

### (4) その他の事業

#### 1) 文化伝承事業

七夕、風鈴やハロウィン、クリスマスなど、季節にふさわしい室内展示や生活・文化を伝承する通年の行事を開催した。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	季節感を創出する伝統文化の展示	季節に合わせ、七夕飾りと風鈴、門松、団子さし、お月見、ハロウィン、クリスマス飾りを展示した。
空 港	季節の伝統行事を楽しむ	七夕の短冊飾り、クリスマスツリー飾り、団子さし、おひな様飾りを地域の幼稚園児等と制作し、エアフロントエリア休憩所に展示した。4月～2月、参加者数108名。
逢 瀬、 センター	季節を感じる展示・飾り付け【新規】	四季の移り変わりを周りの自然とともに暦やイベントに合わせた飾り付けを行った。ひな祭り飾り、鯉のぼり、七夕、風鈴棚の設置、ハロウィン・ランタンづくり教室参加者15名。
民家園	年中行事・体験行事・実演行事・ボランティアガイド	年中行事等の再現や来園者へのガイド、講師の手配等円滑な運営に努めた。年中行事(12回)、体験行事(7回)、実演行事(3回)、ボランティアガイド(166件)
	全国のだるま展示会・絵付け体験	寄贈品の展示と、展示を活用した絵付け体験を実施し、施設の利活用に寄与した。12/16～2/24、参加者来園者2,068名、体験者62名。
	お正月遊び体験	民家園を活用した昔ながらのお正月遊びを来園者に提供した。1/4～8、来園者290名。



## 2 都市公園並びにスポーツ・レクリエーション及び歴史・文化・自然に関わる施設の管理運営事業【公益目的事業】

### (1) 指定管理施設

#### 1) 指定管理者としての施設の維持管理業務

施設名	面積 (㎡)	維持管理施設
あづま総合運動公園	88.2	総合体育館ほか有料施設 11施設 巨石広場ほか無料施設 10施設 (クライミングウォールを含む。)
福島空港公園	52.1	庭球場ほか有料施設 4施設 日本庭園ほか無料施設 9施設
逢瀬公園	17.3	桜の広場ほか無料施設 5施設
総合緑化センター	16.5	管理棟 1施設 日本庭園ほか無料施設 17施設
福島市民家園	11.0	古民家 11施設 展示館、管理棟、休憩棟 3施設

### (2) 施設管理運営事業

#### 1) 定期的な巡視

安全・安心な施設を提供するため、定期的な巡視を行い、異状があった場合は適切な対応に努めた。

#### 2) 点検作業

適正な施設の維持管理と点検作業に取り組むとともに、遊具の日常管理や保守点検に努めた。

#### 3) 修繕計画

有資格者の職員による施設点検を行い、更新などの修繕計画を作成した。また、福島県などの施設管理者に予算確保のための資料として提出した。

#### 4) 災害等の対応

来園者の安全確保や不法行為の防止及び災害等の不測の事態に備えるために、避難誘導訓練や普通救命講習などを実施した。

#### 5) 放射線量測定

園内各施設の放射線量を定期的に測定し、ホームページや掲示板への掲示により利用者に情報を提供した。

#### 6) 利用者へのサービス

公園内の季節の見どころに可動式ベンチを設置した。(あづま)【新規】

#### 7) 古民家等の適切な管理

貴重な古民家及び民俗資料を次世代に引き継いでいくため、適切な管理に努めた。  
(民家園)

### (3) 緑地管理事業

- ① 各植物の特性に配慮した植栽管理に努めた。
- ② 生育状況や利用に応じた適切な芝生管理に努めた。(あづま、空港)
- ③ 自然環境に配慮した植生管理、景観性に配慮した植栽管理に努めた。
- ④ 貴重な植物の保護に取り組んだ。(あづま、逢瀬、センター)
- ⑤ 季節毎に楽しめる草花管理、自然美に配慮した下草管理、意匠性と自然美を融合させた植栽管理に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター)
- ⑥ 日本庭園において日本らしさ、郷土性、季節感の感じられる緑地管理に努めた。  
(空港)
- ⑦ 樹木の枯れ枝などを巡視で発見し剪定を迅速に行った。(あづま、空港、逢瀬、センター)
- ⑧ とうほう・みんなのスタジアム、あづま球場の芝グラウンドにおいてプロスポーツ利用に配慮した芝生補修を迅速に行った。(あづま)

### (4) 有料施設管理事業

- ① 有料施設の適正な利用受付及び貸出業務を行うことにより、公平・公正な貸出に努めた。(あづま、空港、センター)
- ② 有料施設の公平・公正な貸出を確保するために利用者会議を開催し、有料施設の年間利用計画の策定に努めた。(あづま、空港)

## (5) 指定管理施設の利用者数

あづま総合運動公園では、開催期間が長く集客力のあるインターハイのバスケットボールとハンドボールの2競技が開催されたことにより、体育館メインアリーナでは前年度比で約66%（約8.2万人）利用者数が増加した。また、春の選抜甲子園大会へとつながる秋季東北地区高等学校野球大会などが開催されたあづま球場でも約76%（約4.3万人）の増加が見られた。一方、インターハイ開催に伴い、夏休み期間に一部営業を休止した室内プール、トレーニング室、軽運動室、幼児体育室では、合わせて約11%（約1.8万人）の減少となったが、他に大きく増減した施設はなかった。この結果、平成29年度の利用者数は、前年度を約13%（約23.5万人）上回る1,984,697人となり、平成22年度以降最多を記録した。

福島空港公園では、緑のスポーツエリアにおいて大規模な大会の開催や冬期の団体利用者が多かったことから、庭球場やフットサルコートなどの有料施設の利用者が増加した。しかし、荒天の日が多かったことなどから、散策等の利用者は、エアフロントエリアと野外活動エリアで微かに減少した。一方、「空港公園ふれあいデー」や「福島空港公園 handmademarket ソライチ」、「空のみちウォーク」などのイベントが、多くの方に知られるようになったことから来場者が増え、利用者は約2%（約1万人）増加した。

逢瀬公園・緑化センターでは、天候不順の影響で前年度に比べて一般散策者が減少し、また、大規模イベントの春の「さくらまつり」や秋の「感謝際」も雨天により来園者が大幅に減少した。3月は天候に恵まれ前年より5,127人増えたものの利用者数は全体として約4%（約6千人）の減少となった。

民家園においては、年中行事への参加者や一般散策者の数は前年度とほぼ同じであったが、開催されるイベント等の規模、内容等の変更等により、利用者数が約12%（約5千人）減少した。

単位：人

公園名	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
あづま	1,383,641	1,156,648	1,890,242	1,507,945	1,772,697	1,839,769	1,750,177	1,984,697
空港	432,972	379,192	420,787	474,787	438,047	508,824	519,573	529,353
逢瀬、 センター	162,339	129,160	139,544	163,554	180,757	183,637	169,762	163,448
福島市 民家園	47,175	15,969	33,380	36,183	38,047	46,169	40,515	35,432
合計	2,026,127	1,680,969	2,483,953	2,182,469	2,429,548	2,578,399	2,480,027	2,712,930

### 3 都市公園等に関する情報の収集、広報、調査研究及び利用促進並びに地域づくりに関する事業【公益目的事業】

#### (1) 都市公園等の情報収集事業

- ① イベント開催時に公園利用者へのアンケート調査を実施し、分析結果を次の開催に反映した。(あづま〔ライトアップ時等を実施。対象イベント数3件、回収数649件。])
- ② 公園管理運営についての意見や苦情をホームページや意見箱などで収集した。
- ③ 大会開催時等に利用団体等から施設や運営についての情報収集を行った。
- ④ 他類似公園の管理運営情報の収集を行った。

#### (2) 都市公園等の広報事業

- ① マスメディアを活用した広報活動を積極的に展開した。
- ② スポーツ団体、学校、各種団体等に対し施設利用誘致活動の推進に努めた。
- ③ 協会発行の広報誌配布による県民への情報提供を行い、利用促進に努めた。
- ④ 園内で見られる花を図鑑として作成し、これを花の時期に掲示することにより、みどりの普及・啓発に努めた。(あづま、逢瀬、センター、民家園)
- ⑤ ホームページ掲載中の各施設の現況や大会・イベント開催状況などの情報をこまめに更新することにより、来園者の利便性向上に努めた。
- ⑥ ホームページ「公園の四季」において、園内の開花状況などのみどりに関する情報を随時提供した。また、トップ画面を一部リニューアルし、公園の健康づくりを楽しむための情報をまとめた「公園で健康になろう」、公園フォトコンテスト入賞作品からピックアップした「公園の魅力フォトライブラリー」等を新たに掲載した。(あづま)
- ⑦ ツイッターを活用し、リアルタイムな情報の提供と交換に努めた。また、きめ細やかに公園の四季等を発信した。(あづま、民家園)
- ⑧ 電光掲示板やデジタルサイネージ(電子看板)を活用し、リアルタイムな情報提供に努めた。(あづま)
- ⑨ 植物学習の場を提供するため、植物名板の充実に努めた。(あづま、逢瀬、センター、民家園)
- ⑩ インターネットのブログ等の日常的な更新に努め、公園の最新情報の提供に努めた。(空港、逢瀬、センター、民家園)
- ⑪ 年間を通し、公園等で開催される大会やイベント内容を園内掲示板へ掲示し、情報提供を行った。また、公園に対する意見・要望への回答を掲示した。
- ⑫ 公園利用者が所有する情報を交換できる「みんなの公園情報掲示板」を休憩所に設置し、利用者の交流の場を提供した。(逢瀬、センター)
- ⑬ 地域と連携し、公園及び隣接する河川沿いの桜の維持活動を行う新名所「逢瀬さくらの里」づくりに参画し、桜の維持管理をはじめ、秋桜や菜の花の種蒔きなどを行った。(逢瀬、センター)

- ⑭ 地域団体「逢瀬さくらの里」と共催し、(公財)日本花の会の研究員を招いた「逢瀬さくら講座」を3月14日に開催。地元住民をはじめ郡山市、福島県造園建設業協会、福島県樹木医会からも参加があり、質疑応答なども活発に行われた。(逢瀬、センター)

### (3) 都市公園等の調査研究事業

- ① 全国公園協議会現地検討会へ職員を参加させ、情報収集や情報交換を行った。

### (4) 都市公園等の利用促進事業

#### 1) 施設の特徴を活かした事業の推進

- ① 距離表示板の設置やマップ作成等により、園内ウォーキングコースの充実に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター)  
また、園路の舗装面に距離表示を行うことで、ジョギングコースの充実に努めた。(あづま)
- ② 公園案内、スポーツ指導、イベント補助、年中行事の伝承などにおいて、ボランティア活動の場を提供した。
- ③ 「あづまボランティア」、「みどりのボランティア」、「みどりのサポーター」、「あづまバラ愛好会」、「福島空港公園ボランティア」、「おうせボランティア」の育成を図るとともに活動の場を提供した。また、民家園については、「民家園のつどい」、「民家園ボランティアガイド」と連携協力し、各種伝統文化の伝承事業に取り組んだ。
- ④ 次の有料施設を個人利用者に無料開放する「個人利用サービスデー」を実施した。(あづま、空港)
  - ア あづま総合運動公園(5/5、8/20、10/9、12/17 年4回)  
プール、体育館トレーニング室、陸上競技場(トレーニング室含む)、庭球場、サイクルスポーツ広場。利用者数は(21,611名)。
  - イ 福島空港公園(毎月1回)  
庭球場。利用者数は(984名)。
- ⑤ 学校や幼稚園等の遠足・見学等を随時受け入れた。なお、雨天の際には休憩の場として、屋内施設を提供した。
- ⑥ 軽運動室を復興支援として引き続き無料開放した。(あづま)
- ⑦ 庭球場の新たな需要を調査するため、8月の毎週水曜日朝5時半から「早朝タイムの試行営業」に取り組んだ。(あづま)
- ⑧ 公園利用の促進を図るとともに芝グラウンドのプロスポーツ利用に対応するため、3月～11月末まで使用可能とするよう芝生の養生管理に努めた。(あづま)
- ⑨ 総合型スポーツクラブ「あづまスポーツクラブ」を支援し、協働でカルチャー教室や健康づくり教室の開催、シニアスポーツ相談室の運営を行った。(あづま)

- ⑩ ヤマユリ群生地の保全を図るとともに、アジサイ園、シクナゲ園、バラ園の植物園としての適切な管理に努めた。(あづま)
- ⑪ バラの愛好者が集い、公園内のバラ園を活用して栽培技術などを学ぶ「あづまバラ愛好会」の活動を支援した。(あづま)
- ⑫ 草花の栽培技術の伝達などを通し、地域団体をみどりで支援する「緑と花のあふれるまちづくり」事業に取り組んだ。(あづま)
- ⑬ 一般県民による自由なぎんなん拾いを推奨し、清掃作業の軽減を図るとともに、公園の新たな秋の風物詩となるよう取り組んだ。(あづま)
- ⑭ 公園の特色を活かしたイベントを開催することで、公園の四季を身近に感じてもらうとともに、各種植物園(円形花壇、香りのバラ園、ヤマユリ園、アジサイ園)の魅力を発信した。(あづま)
- ⑮ サクラやイチョウ、古民家などの公園資源を活用したライトアップを開催し、公園の魅力を発信した。(あづま、民家園)
- ⑯ 日本らしさと四季の演出、公園の新たな魅力の再発見を目的に、日本庭園マツの雪吊りを実施した。(空港)
- ⑰ 条例で休館日となっている第3日曜日も開館し、公園利用者の利便を図った。(センター)
- ⑱ ウォーキングを楽しむ利用者への更なる情報提供を充実させるため、逢瀬公園坂道健康ウォーキングマップ&周辺のんびりウォーキングマップを西駐車場に配置した。(逢瀬、センター)
- ⑲ 公園利用者の利便性の向上と地域連携を目的に開店した「公園の駅おうせ茶屋」の運営に協力した。同施設は、郷土料理「キャベツ餅」の販売や地域食材を活用した飲食サービスの他、公園や周辺地域の観光情報の提供等にも取り組んでいる。(センター)
- ⑳ 植物名板や解説板の増設を行うとともに、松くい虫被害による空間にモミジや新たな品種の桜苗を植栽し、植物園としての充実に取り組んだ。(逢瀬、センター)
- ㉑ 古民家の風情を活かした「縁側の山野草展・即売会」、「生花展示」、「だるま絵付け体験」、また、寄贈された民具を活用した「着物展示」、「だるま展示」を開催し、利用促進を図った。(民家園)
- ㉒ 福島市小鳥の森と共催で、「コーヒーを飲みながら野鳥の声を聞こう」他2事業を開催し、民家園の新たな魅力発信を図った。(民家園)

### (5) 都市公園等の地域づくり事業

商工会と協力して花苗の栽培を行う等、地域の団体との協働による様々なイベントを開催するとともに、ボランティアの受入れや育成を通し、地域の活性化や地域づくりのリーダーとなる人材等の育成に取り組んだ。

場 所	事 業 名
あづま	「地域に学ぶ中学生体験学習」の生徒受け入れ（市内各中学校）
	子ども応援プロジェクトの実施
	みどりのサポーターの活動
	みどりのボランティアの活動
	緑と花のあふれるまちづくり
	あづまボランティアの活動
	あづまバラ愛好会の活動
	西いきいきふれあい合宿の受け入れ
	あづまの郷ウォーク大会
	荒川ミュージアムへの参画
	うつくしま園芸福祉の会との協働連携
	東京オリンピック・パラリンピックに係る関係地域・団体による連携会議
空 港	空港公園で夢体験
	空港公園ふれあいデー
	空のみちウォーク
	空港公園ボランティア活動
逢 瀬、 センター	地域の花いっぱい運動への花苗の栽培提供
	「安積アルプス出逢いプロジェクト」地域づくりへの取り組み
	逢瀬さくらの里づくりへの取り組み
	朝採り野菜市

#### 4 緑化に関する普及指導、情報の収集及び調査研究に関する事業【公益目的事業】

##### (1) 緑化推進の普及指導及び情報収集事業

##### 1) 公園資源を活用した緑化推進事業

- ① 公園資源を活用した「あづま香りのバラ園まつり」やライトアップを開催するとともに、花苗の無料配布や各種体験会を実施し、緑化の推進に努めた。

場 所	事 業 名	実施日	参加者数
あづま	サクラの光のファンタジー	4/7～4/23	8,227名
	あづまバラ愛好会の活動	4/10～3/2	1,064名
	公園の自然探訪	4/21、6/15、 7/15、10/21	25名
	あづま森の楽校	4/23～2/18	47名
	みどりのボランティアの活動	4/28～3/23	111名
	春の感謝デー花苗配布(1,000ポット)	4/29	500名
	ジャンボかぼちゃづくり	5月～10月	—
	みどりのサポーターの活動	5/17～12/11	74名
	あづま「香りのバラ園まつり」	5/27、28	8,750名
	あづまちびっこパーク	6/4	372名
	緑と花のあふれるまちづくり	6/16～11/10	24名
	あづま「パークマスター」育成事業	7/29、8/2～4	20名
	イチョウ光のプロムナード	10/18～11/12	6,388名
	光のTREEページェント	12/15～1/14	9,896名
	「公園の達人」宿泊体験	2/10、11	16名
	園内掲示板への花だより情報の掲載	年間	—



場 所	事 業 名	実施日	参加者数
空 港	花のまちづくり推進事業	4/6、4/26、 6/2、8/21、 9/14、10/13	60名
	空港公園の森トレッキング【新規】	4/16、7/16、 10/15、12/10	165名
	花づくりサポート事業	5/3、9/16	2,000名
	空港公園で農体験	5/18、10/25	117名
	みどりのカーテン設置	5/29～10/7	—
	空港公園でバードウォッチング【新規】	7/30、2/4	37名
逢 瀬、 センター	みどりに親しんでもらうための展示と工夫	通年	—
	みどりの日記念花苗無料配布	5/4	250名
	春の山野草展、秋の盆景展	5/20、21 10/20～22	755名
	きのこを通して森を学ぶ親と子の環境学習事業	6/25、7/30、 9/23	45名
	夏休みみどりの絵画募集	9/1～9/10	32名
民家園	みどりのカーテン設置	5/10～9/27	—
	縁側の山野草展	6/3、4	509名
	植物見頃情報板の設置	通年	—

- ② 緑化に関する知識の向上を目的に、家庭園芸の基礎を学ぶ各種教室や自然とふれあう体験教室を開催することにより緑化の普及に努めた。

場 所	イベント名	実施日	参加者数
あづま	公園の自然探訪	4/21、6/15、7/15、10/21	25名
	あづま森の楽校	4/23～2/18	47名
	みどりの県民カレッジ	5/22、7/10、9/11、10/22、 12/22、1/19	107名
	福島っ子応援みどりと花の教室	6/10、7/1、10/14	42名
	造園技術を学ぼう【新規】	6/10、24、9/16、23	36名

場 所	イベント名	実施日	参加者数
あづま	うつくしま巨樹・古木めぐり	7/28、9/22、11/17	124名
空 港	空港公園自然塾	4/8、5/6、6/10、7/22、8/19、 9/30、10/21、11/18、12/9 1/20、2/17、3/17	270名
	季節を楽しむ「みどりの講座」	5/19、6/16、7/14、8/4、9/8、 10/27、11/24、12/15	190名
	福島っ子応援みどりと花の教室	5/27、7/2、10/22	65名
	季節を彩る「フラワーアレンジ」	5/27、7/8、9/9、11/4、12/23	74名
	樹木剪定専門技術研修	6/24、25、10/28、11/5	延べ46名
逢 瀬、 センター	スローライフを楽しむハーブ講座	4/24、6/14、7/15、 8/24、9/15、11/30	91名
	実践で学ぶ庭木の剪定講座	5/12、22、6/9、8/29、 10/12、31、11/10	53名
	公園は僕らの宝“逢瀬の森で遊ぼう” 【新規】	5/15、6/10、10/7、2/10	99名
	暮らしを彩るみどりと花の講座	5/20、7/1、10/1、11/4、 11/24	91名
	笑顔広がるにこにこバラ講座	5/25、6/22、10/18、 11/17、12/8	69名
	福島っ子応援みどりと花の教室	6/7、7/8、10/28	60名
	きのこを通して森を学ぶ親と子の環 境学習事業	6/25、7/30、9/23	45名
逢瀬さくら講座	3/14	38名	

## 2) 職員が有する能力及び資格を活用した緑の普及指導事業

みどりの専門分野の知識・能力を活用し、ガーデニング教室、園芸教室等の教室や講座を開催することにより、みどりの普及啓発に努めた。

場 所	事 業 名	内 容
あづま、逢瀬、センター	うつくしま巨樹・古木めぐり	巨樹・古木を通して、歴史や樹木の生態、更にはみどりへの関心を持ってもらうことを目的にあづま発とセンター発で開催した。3回、参加者数 124 名。
あづま	造園技術を学ぼう【新規】	家庭で造園技術が活かせるよう、公園内で樹木の剪定講習会や四つ目垣の作成講習を開催した。4回、参加者数 36 名。
	みどりの県民カレッジ	公園の特色を活かした親しみのある講座の中で職員が持つ技術提供を行った。6回開催。参加者数 107 名。
空 港	「みどりの講座」	家庭での庭づくりやガーデニングの基礎知識を公園から伝えることを目的に講座を開催した。8回、参加者数 190 名。
逢 瀬、センター	芝生の葉アートを楽しもう	みどりに親しんでもらうことを目的に、芝生の広場で、地域の子どもたちに手動芝刈り機を使って芝刈り作業を体験してもらった。緑の芝生の中に大きなハートマークを浮かび上がらせることができた。取材にはTV局2社、新聞社2社が訪れた。5/31、参加者数 16 名。
	暮らしを彩るみどりと花の講座	全5講座のうち3講座は、新たにガーデニング初心者向きの内容を加え、職員が持つ技術提供を行った。参加者数 91 名。

### 3) その他受託事業

グリーンアドバイス事業の受託

- ① あづま総合運動公園・空港公園にグリーン・アドバイス・センターを開設し、一般県民及び市町村、団体から庭木や草花の病害虫の診断や防除指導等、みどりに関する疑問や質問等の相談をみどりの有資格者が受け対応した。

・緑地の設計	0件
・樹種選定・特性	350件
・栽培・増殖	197件
・育成管理	1,057件
・樹勢診断・治療処方	3,179件
・病害虫	261件
・その他	3件
合 計	5,047件
〔うち、相談室内アドバイス〕	658件
出張アドバイス	4,389件

- ② 講習会等への講師派遣を行った。

・福島市学習センター	6件
・飯舘村自治会	3件
・飯舘村公民館	2件

### 4) 情報収集事業

みどりに関する季刊誌や県外の公園情報誌等から情報収集を行った。

## (2) 緑化推進の調査研究事業

### 1) リサイクル事業

- ① 剪定枝や松くい虫被害木はチップパーにより減容化し、よう土薫により堆肥化するとともに、花壇の土壌改良材として利用した。(あづま)
- ② 落葉樹を主とした落ち葉は分別収集して積み置きし、次年度の花壇堆肥化として再利用するため保管した。(あづま)
- ③ 剪定枝はチップパーにより減容化し、処分施設内に保管した。(空港、逢瀬、センター)

### 2) 生態系に配慮した事業

- ① 公園内の自然環境を踏まえて、生態系に配慮した緑地管理を行った。(あづま、空港、逢瀬)

## 5 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業【収益事業】

### (1) 都市公園の管理運営のうち、興行に類するものへの貸出に関する事業

#### 1) 興行に類するものへの貸出状況

- ① BCリーグ福島ホープス戦（4月15・28・29・30日、8月5・6・12日）
- ② J3ユナイテッドホームゲーム（4月16・30日、5月14日、6月4・18日、7月8日、8月27日、9月17日、10月1・22日、11月11・26日、12月3日、3月11・21日、合計15試合）
- ③ ミュージック花火（6月3日）
- ④ プロ野球 ヤクルト×巨人戦（6月28日）
- ⑤ 新日本プロレス福島大会（9月10日）

### (2) 緑化の推進に関する樹木等調査、緑地造成及び緑地管理の受託事業

#### 1) 緑化の推進に関する樹木等調査事業

- ① 街路樹、緑の文化財等の樹勢診断調査及び保全対策の設計、施工  
平成29年度指定天然記念物定期診断業務（郡山市）

工期：H29.11.1～H30.3.31

#### 2) 緑地の造成及び緑地管理事業

- ① 福島県立医科大学の緑地管理  
福島県立医科大学緑地保全管理業務（公立大学法人福島県立医科大学）

工期：H29.4.1～H30.3.31

- ② 「巨木・名木めぐり」講座

巨木・名木めぐり講座実施委託（(株)NHK文化センター郡山支社）

工期：H29.4.1～H30.3.31

### (3) 利用者への利便性供与を目的とする物品販売等に関する事業

#### 1) 売店等の設置(あづま、空港、センター)

あづまに1箇所のレストラン及び空港に2箇所の常設売店を設置し、利用者への利便性向上に努めた。

また、センターの売店「公園の駅おうせ茶屋」は4月から11月にかけて営業し、利用者の利便性の向上と地域連携に努めた。

#### スポーツ大会、イベント開催時の臨時売店などの設置

	臨時売店	フリーマーケットなど
あづま	延べ(689店)	延べ 477店
空 港	延べ (72店)	延べ(335店)
センター	延べ 18店	延べ 0店

#### 2) 自動販売機の設置

	飲料水	飲食物
あづま	42台	8台
空 港	8台	—
センター	2台	—

#### 3) スポーツ用品の販売(あづま、空港)

卓球ボールやバドミントンのシャトル等、スポーツ用品の販売を行い、利用者への利便供与に努めた。

#### 4) 地域の農産物の販売(センター)

6月～11月に11回開催し、440名の来園者に利用された。

### Ⅲ 役員等に関する事項

#### 1 理事、監事の状況

役 職	期 首 氏 名	変更事由等	任期満了 による改選 (平成29年6月15日)	変更事由等 (平成30年 3月31日)	<参考> 補充選任 (平成30年4月1日)
			氏 名		氏 名
理 事	渡 邊 宏 喜	任期満了による	渡 邊 宏 喜	辞任による	大河原 聡
理 事	石 森 春 男	任期満了による	石 森 春 男		
理 事	佐 賀 勝	任期満了による	佐 賀 勝		
理 事	安 食 徹	任期満了による	安 食 徹	辞任による	(補充なし)
理 事	新 谷 崇 一	任期満了による	新 谷 崇 一		
理 事	大 高 明 彦	任期満了による	大 高 明 彦	辞任による	飯 沼 隆 宏
理 事	佐 藤 弘 樹	任期満了による	佐 藤 弘 樹		
理 事	鈴 木 良 治	任期満了による	鈴 木 良 治	辞任による	相 澤 広 志
理 事	森 崎 俊 紘	任期満了による	森 崎 俊 紘		
理 事	若 松 伸 司	任期満了による	若 松 伸 司		
監 事	齋 藤 忠	任期満了による	齋 藤 忠		
監 事	根 本 達 弥	任期満了による	根 本 達 弥		

#### 2 評議員の状況

役 職	期 首 氏 名	変更事由等	任期満了 による改選 (平成29年6月15日)	変更事由等 (平成30年 3月31日)	<参考> 補充選任 (平成30年4月1日)
			氏 名		氏 名
評議員	伊 藤 直 樹	任期満了による	伊 藤 直 樹	辞任による	五十嵐 俊 夫
評議員	金 子 市 夫	任期満了による	金 子 市 夫		
評議員	齋 藤 卓 夫	任期満了による	齋 藤 卓 夫		
評議員	真 田 哲 也	任期満了による	真 田 哲 也		
評議員	杉 浦 孝 幸	任期満了による	杉 浦 孝 幸	辞任による	玉 根 吉 正
評議員	鈴 木 和 栄	任期満了による	鈴 木 和 栄		
評議員	照 山 成 信	任期満了による	照 山 成 信		

役 職	期 首 氏 名	変更事由等	任期満了 による改選 (平成29年6月15日)	変更事由等 (平成30年 3月31日)	<参考> 補充選任 (平成30年4月1日)
			氏 名		氏 名
評議員	西 山 尚 利	任期満了による	西 山 尚 利		
評議員	本 多 勉	任期満了による	本 多 勉		
評議員	和 合 アヤ子	任期満了による	和 合 アヤ子		

### 3 常勤役員の異動状況

旧：常務理事 林 博 行（平成29年3月31日辞任）  
 新：常務理事 佐 賀 勝（平成29年4月1日新任）  
 理事長 渡 邊 宏 喜（平成29年6月15日再任）  
 副理事長 石 森 春 男（平成29年6月15日再任）  
 常務理事 佐 賀 勝（平成29年6月15日再任）

### 4 常勤役員の兼職状況

兼 職 名	兼 職 者
(公社)福島県森林・林業・緑化協会理事	理事長 渡 邊 宏 喜
(公財)福島県スポーツ振興基金理事	〃
福島県体育施設協会会長	〃
(公財)日本体育施設協会理事	〃

### 5 理事会及び評議員会の開催状況

開催月日	提 出 議 題
<b>第1回理事会</b> 平成29年4月1日 決議の省略による方法 同意理事 10名 同意監事 2名	議案 常務理事の選任（案）について



<p><b>第2回理事会</b> 平成29年5月29日 ホテルサンルートプラザ福島 出席理事 6名 出席監事 2名</p>	<p>議案第1号 平成28年度事業報告及び附属明細書について 議案第2号 平成28年度決算に係る計算書類及び附属明細書について 議案第3号 平成29年度第1回評議員会の招集(案)について</p>
<p><b>第1回評議員会</b> 平成29年6月15日 杉妻会館 出席評議員 9名 出席監事 2名</p>	<p>報告事項1 平成28年度事業報告及び附属明細書について 議案第1号 平成28年度決算に係る計算書類及び附属明細書について 議案第2号 評議員の選任(案)について 議案第3号 理事の選任(案)について 議案第4号 監事の選任(案)について</p>
<p><b>第3回理事会</b> 平成29年6月15日 決議の省略による方法 同意理事 10名 同意監事 2名</p>	<p>議案第1号 理事長の選任(案)について 議案第2号 副理事長の選任(案)について 議案第3号 常務理事の選任(案)について</p>
<p><b>第4回理事会</b> 平成30年1月22日 HOTEL SANKYO FUKUSHIMA 出席理事 8名 出席監事 2名</p>	<p>報告事項 平成29年度職務執行状況報告について 議案第1号 平成29年度補正予算(案)について 議案第2号 平成30年度事業計画(案)について 議案第3号 平成30年度収支予算(案)について 議案第4号 公益財団法人福島県都市公園・緑化協会嘱託員就業規則等の一部改正(案)について 議案第5号 平成29年度第2回評議員会の招集(案)について</p>
<p><b>第2回評議員会</b> 平成30年2月7日 杉妻会館 出席評議員 6名 出席監事 2名</p>	<p>報告事項1 平成29年度職務執行状況報告について 報告事項2 平成29年度補正予算について 報告事項3 平成30年度事業計画について 報告事項4 平成30年度収支予算について 報告事項5 公益財団法人福島県都市公園・緑化協会嘱託員就業規則等の一部改正について</p>

開催月日	提出議題
<b>第5回理事会</b> 平成30年3月16日 決議の省略による方法 同意理事 10名 同意監事 2名	議案第1号 平成29年度第3回評議員会の開催(案)について
<b>第3回評議員会</b> 平成30年3月31日 決議の省略による方法 同意評議員 10名 同意監事 2名	議案第1号 評議員の補充選任(案)について 議案第2号 理事の補充選任(案)について

#### IV 特記事項

なし。